

パレスチナ支援現場の若者

「誰もが抗議できる」

パレスチナ自治区のガザ地区のイスラム組織ハマスとイスラエル軍の停戦が発効した

が、都内で行われたイスラエル軍の虐殺に抗議する現場には若者の姿が目立った。労働問題や社会問題を市民の視点から情報発信している市民メディア「レイバーネットTV」が、現場に立つ若者をゲス

トに招き、活動に取り組む思いを聞いた。

レイバーネットTVは、ネット上で社会運動に関する情報などを発信しているレイバーネット日本が始めた動

れまでも労働問題を始め、米騒動や原発問題、冤罪問題など幅広いテーマで情報を発信してきた。ガザ問題での抗議の現場に若者の姿が目立つことから今回の番組を企画した。

ゲストはアーティストでアクティビストの滝あさこさんと「ジェノサイドに抗する防衛大学校卒業生の会」の平山貴盛さん。2人は20〜30代。滝さんは英国に留学した際パレスチナ問題に触れた。平山さんは防衛大で軍事と安全保障の総合教育を受けた。卒業後、自衛官に任官せず、民間

企業に就職したため学んだことを社会に還元したいと発信と抗議運動に参加することにしたという。

2人は「誰かが強力に引っ張る運動ではなく、誰もが参加できる

ようなスタイルを目指している」と言い、デモなど行動で性差別やハラスメントを許容しないというグランドールを徹底した。集会でのスピーチやトークをすぐに文字起こしするなどして身体にハンディがある人も参加できる工夫をしたという。また、停戦を求める取り組みでは、パレードなどと共にイスラエルを商取引などで金銭的に支えている企業や国の行動に対して直接的な抗議活動を展開し、企業のイスラエル支援からの撤退など成果を上げたと運動の特

徴を説明した。

滝さんは「若者のアクションが目立つが、若者全部が参加している訳ではない。幅広い年代、人々が参加できるような場を作っていくことが特徴だと思う」と話していた。

番組は15日に約1時間配信された。YouTubeの「レイバーネットTV」で動画を視聴できる。

【東海林智】



レイバーネットTVに出演し、パレスチナ支援について話す滝さん(中央)と平山さん(右) 千代田区